

令和元年9月9日  
四国電力株式会社

## 「廃止措置研究に係る検討会」の成果について

当社は、伊方発電所1号機の廃止決定に伴い、平成28年4月に「廃止措置研究に係る検討会」を設置し、愛媛県、愛媛大学、国等に参画いただくとともに、愛媛県内企業の協力も得て、廃止措置作業を安全かつ効率的に行うための研究開発を実施しています。

(平成28年5月11日 お知らせ済み)

この中で、放射性物質による汚染防止のために着用する防護服については、厳重な防護を要する仕様であることから、暑さや蒸れによる作業効率の低下をもたらすことが課題として抽出されました。

この課題に対して、東レ株式会社の技術協力のもと、シンワ株式会社が、従来品と同等の防護性能を確保しつつ通気性等を改善することで、暑さ対策や作業効率の向上が期待できる防護服を開発・商品化し、伊方発電所へ納入することになりました。

当社といたしましては、引き続き、検討会を活用することで、愛媛県内の企業や大学等と連携した廃止措置技術に係る課題解決に向けた検討を進めるとともに、安全確保を最優先に廃止措置に取り組んでまいります。

### ○シンワ株式会社の概要

設 立	1957年4月
代 表 者	代表取締役社長 井上 和久
所 在 地	愛媛県四国中央市妻鳥町249-2
事 業 内 容	不織布製品の開発・製造・販売
資 本 金	4,800万円
従 業 員 数	270名

別紙：「現場ニーズに幅広く対応する防護服の開発」研究内容

以 上

「現場ニーズに幅広く対応する防護服の開発」 研究内容

1. 概要

- ・放射線管理区域内の作業では、放射性物質を含む粉塵等による汚染を防止するため防護服を着用するが、暑さや蒸れによる作業効率の低下が課題となっていた。
- ・こうした中、東レの素材とシワの設計・縫製技術の活用により、安全性（防塵性）と快適性（高通気性）を両立する新たな防護服を開発した。

2. 内容

従来品と同等の防護性能でありながらも通気性に優れた生地、同生地を使用した防護服を開発し、快適性評価試験により衣類内の温度・湿度変化が大幅に改善されていることを確認した。

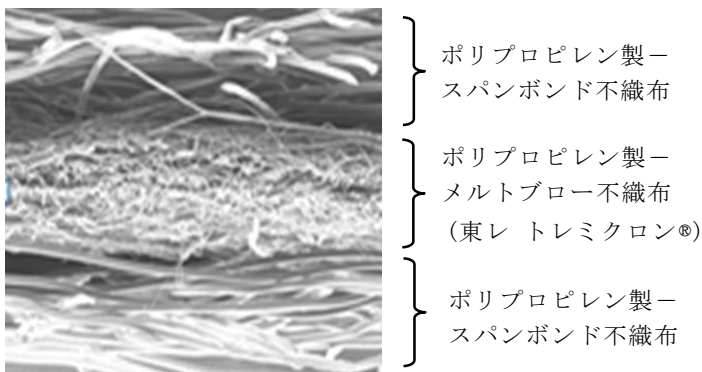


図1 開発した生地の断面

図2 開発した防護服

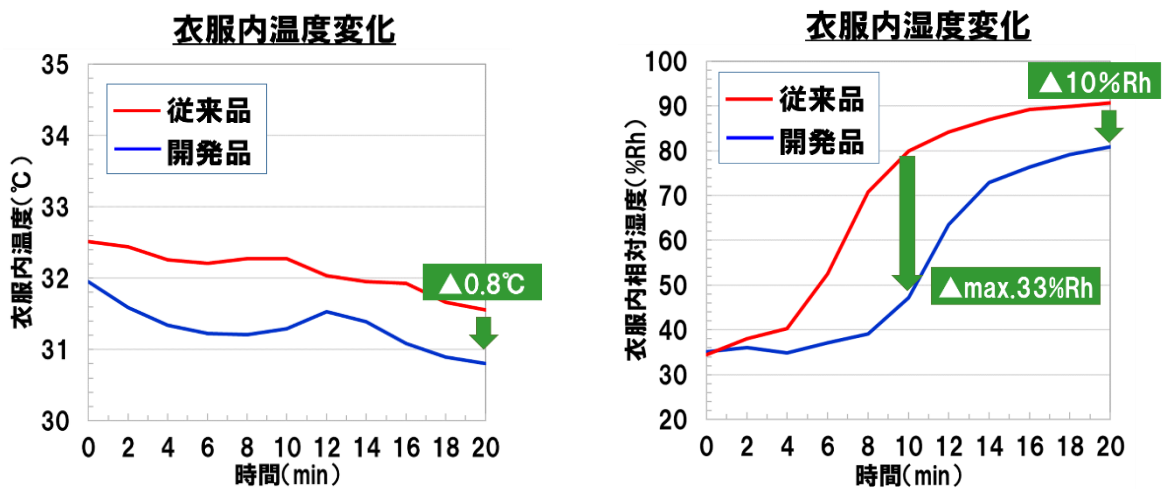


図3 快適性評価試験結果（被験者5名の衣服内温度・湿度平均）